

1. 件名：大飯発電所第3号機加圧器スプレイライン配管溶接部における事象に対する水平展開の検査に関する関西電力（株）との面談

2. 日時：令和3年3月8日 10時30分～11時10分

3. 場所：原子力規制庁2階会議室（TV会議システムを利用）

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部 検査グループ 専門検査部門

中田上席原子力専門検査官、渋谷主任原子力専門検査官、

宇野主任原子力専門検査官、森田主任原子力専門検査官

関西電力株式会社

原子力事業本部 原子力発電部門 保全計画グループ リーダー他3名

5. 要旨

○原子力規制庁から、関西電力株式会社（以下「関西電力」という。）に対して、大飯発電所3号機加圧器スプレイライン配管溶接部で亀裂が確認された事象に対する水平展開の検査において、標準的に適用する超音波探傷試験（以下「UT」という。）に追加して、2次クリーピング波法等のUTを適用する範囲の考え方について説明を求めた。

○関西電力から、当初は「大飯3号機加圧器スプレイライン配管溶接部における有意な指示に係る公開会合（第11回）」（令和3年2月12日開催）で示した「類似性あり」の箇所のみ追加確認のためのUTを適用する考えであったが、今後は大飯発電所4号機で行った水平展開と同様に、「類似性なし」の箇所にも追加確認のためのUTを実施することとした旨説明があった。

○原子力規制庁から、説明のあった検査の実施状況について、今後の原子力規制検査において監視していく旨伝えた。

6. その他

資料：大飯3号機 加圧器スプレイ配管事象に対する水平展開の検査の考え方について